

港区立高陵中学校
令和3年度 授業改善推進プラン

1 区学力調査の結果を踏まえた課題

国語	- 話し手の目的に応じて内容を捉えることや、内容を明確にするために話し手の工夫を捉えることへの項目が、他項目と比べ低い。話す・聞く等に課題がある。 「思考力」に課題がある。話し手の目的に応じて考えながら、話の内容を吟味する力が弱い。
社会	2年生の校内正答率は、区の正答率、全国正答率とほぼ同等かそれ以上であるが、古代の日本(縄文～平安)と日本の地域構成)の正答率が比較的低かった。このことから、1年次に履修済の知識が定着していないように思われる。 3年生の校内正答率は、区の正答率、全国正答率とほぼ同等かそれ以上であるが、活用問題にやや苦手意識が見られる。
数学	- 全学年共通で、資料の活用の単元の正答率が他項目と比べて低くなっている。 - 数学の基礎知識を活用して問題を解く「思考・判断・表現」の項目に課題がある。
理科	- 計算やグラフに関する問題の正答率が低くなっている。 - 実験器具の基本操作など技能に関する問題の正答率が低くなっている。 - 化学分野に苦手意識がみられる。
外国語	- リスニングに自信の持てない生徒がいる。 - 長文を読み、問題を読み込み、理解し、正確に解答する力が不足している。 - 条件を与えられ、その条件にそって表現する課題に弱い面がみられる。

2 各教科の具体的な授業改善

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
国語	- 話し手の内容を理解する能力 - 内容を考え、吟味する能力	- 各単元の授業において、他者と意見を交流し、意見の主旨や優れた点を聞き取る学習を指導していく。 - 話し手の目的をワークシート等で明らし、それに対する自身の考え、思考を書く学習を行う。また、吟味した内容の発表等を行わせる。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
社会	基本的知識の理解と活用、思考・判断・表現力の向上	事実的な知識の習得だけでなく、概念的な理解も伴いながら、根拠をもって説明、論述等ができるようなまとめの時間等を設けて指導していく。

数 学	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	・思考・判断・表現	・問題に対して数学的に活用する力を育成するために、問題に対して、個人で考える時間を設けて、そこから集団で検討する時間を設けて、様々な視点で問題を解決するようにする。

理 科	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	・思考・表現・判断 ・基本的な実験技能	・実際の実験データを用いて、数値の計算やグラフをまとめる時間を設けて、正確な数値を求める方法を考えられるよう授業を展開する。 ・実験を行う機会を多く設け、グループで話し合いながら具体的な操作を学習できるようにする。

音 楽	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	表現したいイメージをもち、お互いに言葉で伝えあいながら曲を演奏する力。 様々な曲について説明や思考を伴い、聴くことができる力。	・各指導事項において必ず、「なぜ」という問いを投げかけ、表現活動の教え込みにならないようにする。 ・生徒がより良い表現活動を探究できる時間を確保する。 ・タブレット等の活用で様々な音楽に触れるようにし、領域の偏りを防ぎ、多くの音楽体験の機会を取り入れる。

美 術	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	・造形的な視点を豊かにし、創造的に表現する力。 ・美術を愛好し、心豊かな生活を創造していく力。	・アイデアスケッチを通して、自らの制作意図を考えたり、言葉で説明することで主題を明確にし、表現に繋げていく。 ・タブレット等の活用で作品鑑賞の機会を増やし、美術文化への理解を深めたり、生活と美術の関わりに興味を持たせる。

保 健 体 育	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	・言語、非言語によるコミュニケーション力 ・動作イメージ力 ・体力の向上	・ペア学習やグループ学習を取り入れ、個人やグループの課題を解決する授業を展開する。 ・ICT 機器を活用し、動きを客観的に捉えられるようにする。 ・準備運動後の補強運動やゲーム等で運動量を確保する。

技	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
---	-------------	----------------------

	・プログラミング作成における論理的思考力の育成。 ・実技における創作意欲の向上	・論理的思考力の育成では、何度でも間違えられるようにし、生徒間で相談しあえるようにする。 ・実技においては生徒が失敗しないように各製作工程において点検を実施する。
--	--	--

外国語(英語・国際)	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	・聞くこと、話すこと、読むこと、書くことの基本的な4技能を高めることを目指す。	・語彙力の強化を図るため、授業の單元ごとに新出単語を練習する機会を設ける。 ・長文理解力を高めるため、いろいろな長文を読む機会を設ける。 ・既習の語彙を活用し、作文力の充実を図る。 ・国際の授業で、リスニングやスピーキングの機会を増やし、活動を充実させる。

道徳	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	- 自主的に考え行動する態度を養い、自律性の育成を目指す。 - 誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場を尊重し、助け合う心の育成を目指す。	・多様な体験活動を効果的に関連させ、生かしていく工夫 ・心に響く資料の選択及び活用、資料提示の工夫 ・ゲストティーチャー、ティームティーチング等指導方法の工夫 ・「特別の教科 道徳の教科書」活用の工夫

特別活動	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	多様な他者と共同する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付ける。	・生徒自ら計画し、行動することを促してリーダー育成を目指して行事の実行委員等を活用する。 ・生徒会活動において、生徒が主体的に組織をつくり、役割を分担し、計画を立て、話し合い活動を充実させる。 ・「高陵コミュニケーションスキル」を共有化した指導を行う。

総合的な学習の時間	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	国際理解、キャリア教育を通して、学びに向かう力、人間性等の育成を目指す。	・国際理解については、ゲストティーチャーを招き、日本文化を体験する機会を設ける。大使館と連携し、他国との交流の機会を設ける。 ・キャリア教育については、地域と連携して職業講話を聴く機会を設ける。